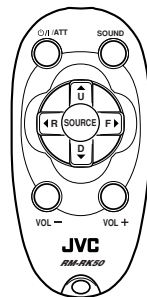
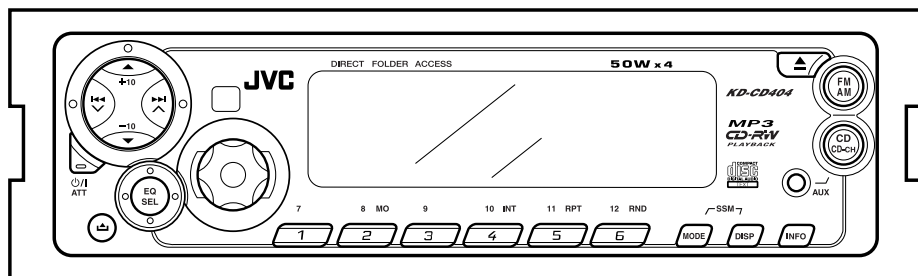


JVC

取扱説明書

CDレシーバー

型名 KD-CD404^{ブラック}/-B



— お買い上げありがとうございます —

!ご使用の前に

この「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GET0089-001C

もくじ

	ページ		ページ
●安全上のご注意	3～5	・CDを取り出す	27
●使用上のご注意	6～7	●CDチェンジャーのCDを聞く	28～29
●各部の名前	8～9	・全曲演奏	28
●リモコン(RM-RK50)の使いかた	10～11	・数字ボタンでCDを選ぶ	28
●基本操作	12～13	・ランダム演奏	29
・時計を合わせる	13	・リピート演奏	29
●ラジオを聞く	14～17	・イントロスキャン	29
・放送局を選ぶ	14	・CD演奏中の表示内容を変える	29
・放送局を自動でメモリー(記憶)させる	14	●他の機器の音を聞く	30
・放送局を選んでメモリー(記憶)させる	15	・CDチェンジャー端子を使うとき	30
・放送局を呼び出す(プリセット選局)	15	・フロントAUX端子を使うとき	30
・道路交通情報を聞く	16	●SELボタンの使いかた	31～36
・FM放送が雑音で聞きにくいときは	16	・C EQ LINK機能を使う	32
・放送受信中の表示内容を変える	17	・表示窓の時計表示を変える	32
●CDを聞く	18～21	・レベルメーターの表示切換	33
・CD-R/CD-RWディスクについて	19	・表示窓の明るさを変える	33
・ダイレクト演奏	19	・ピープ音をオン/オフする	34
・ランダム演奏	20	・文字表示のモードを変える	34
・リピート演奏	20	・ ^{CD} _{CD-CH} ボタンのモードを変える	35
・イントロスキャン	20	・フロントAUXの感度を上げる	35
・CD演奏中の表示内容を変える	21	・ID3-Tag表示をオン/オフする	36
・CDを取り出す	21	●文字入力のしかた	37
・CDの盗難防止	21	●音量・音質の調節	38～39
●MP3について	22～23	・EQボタンで音質を選ぶ	39
・MP3フォルダ/MP3ファイルの演奏順序	23	・EQのメモリー内容を変える	39
●MP3ディスクを聞く	24～27	●コントロールパネルの着脱	40
・ダイレクト演奏(ダイレクトフォルダアクセス機能)	24	●故障かな?と思う前に	41～43
・次または前のフォルダにスキップする	25	・こんな表示のときは	43
・ランダム演奏	26	●保証とアフターサービス	44
・リピート演奏	26	●主な仕様	45
・イントロスキャン	26	●お手入れ	46
・MP3ディスク演奏中の表示内容を変える	27	●用語索引	47

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

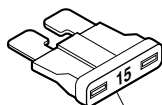
本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ずこの取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの \ominus 側が車の金属部に接続されていたり、 \ominus 側同士が接続されていると故障の原因になります。

バランスド トランスフォーマーレス
*BTL : Balanced Transformerlessの略
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



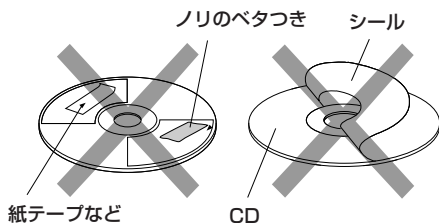
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

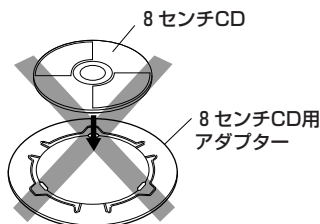
携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは**
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- **CD-R/CD-RWの取扱いについて**
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- **記録面やラベル面に紙テープやシールを張ったりしないでください。**
そのまま使用するとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となります



- **ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。**
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- **8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。**
8センチCDは、そのまま挿入してください。



- **長時間CDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。**

各部の名前

—□の数字のページに説明があります。—

電源(電源)/ATTボタン^{アッテネーター} 12

電源の「入」↔「切」ができます。

FM AM ボタン* 12 14

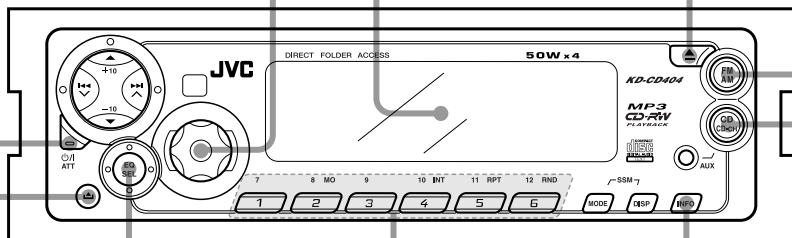
ソース(音源)を「ラジオ」にした
りFMまたはAMの聞きたいバ
ンドを選ぶことができます。

回転ボリューム 12 31 38

音量調節や各種の設定が
できます。

▲(CD取出し)ボタン 18 24

表示窓(ディスプレイ)



数字ボタン

- ・「CD」「CDチェンジャー」のとき：
1～12が機能します。19 25 28
- ・「ラジオ」のとき：
1～6が機能します。15

SELボタン^{セレクト} 13 31 38

音量・音質調節のモードが選べます。
2秒以上押しと、時計合わせなどの各
種設定モードになります。

INFOボタン*^{インフォメーション} 16

道路交通情報を聞く
とき使います。

▲(コントロールパネル取り出し) ボタン 40

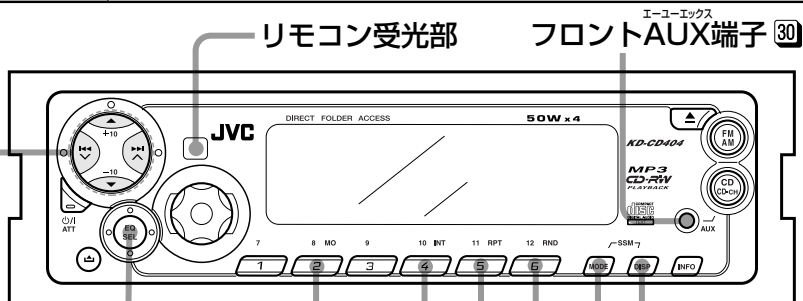
CD CD-CH ボタン* 12 21 28 30

ソース(音源)を「CD」または「CD
チェンジャー」にすることができ
ます。
2秒以上押しと「AUX」になります。

*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。

◀◀、▶▶ボタン/選局ボタン(▽、△)/+10、-10ボタン/▲、▼ボタン
ソース(音源)によって働きが異なります。

ソース (音源)	「CD」 「CDチェンジャー」	「ラジオ」
働 き	<p>曲の頭出しや早送り、早戻しができます。 18 24 28</p> <p>「CD」の場合、MODEボタンと+10(または-10)ボタンを併用すると、前後10曲の頭出しができます。19</p> <p>「MP3ディスク」の場合▲(または▼)ボタンは、次または前のフォルダにスキップすることができます。25</p> <p>「CDチェンジャー」の場合、CDを選ぶことができます。28</p>	<p>放送局を選局するとき使います(オート選局/マニュアル選局)。14</p> <p>▲(または▼)ボタンはプリセット選局ができます。15</p>



イコライザー
EQボタン 39

モード
MODEボタン
数字ボタンの働きを一時的
に変えることができます。
14 16 20 26 29
+10、-10ボタンの働きも
一時的に変えられます。19

ディスプレイ
DISPボタン
14 17 21 27 29

メモリアクセシブル
SSM機能を使って
FM放送をメモリーす
るときは、MODEボタ
ンと同時に2秒以上押
します。

数字ボタン(MODEボタンを押したあとの働き)

「MODE」表示が点滅中に操作します。

- 「CD」
「CDチェンジャー」のとき：20 26 29



- 「ラジオ」のとき：16

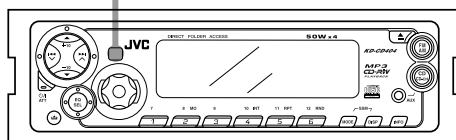


リモコン(RM-RK50)の使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。

リモコン受光部

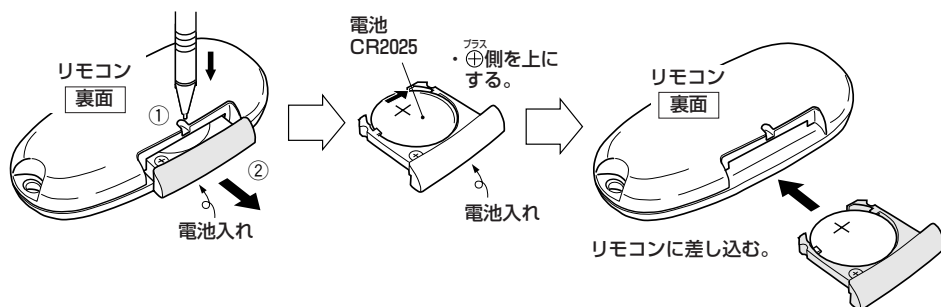


ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

電池の入れかた

ボールペンなどで
押し取り出す。



● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

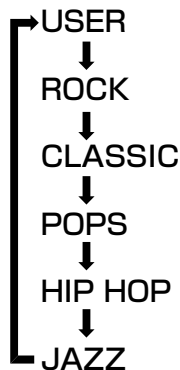
使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

各部の名前

^{アッテネーター}
⏻/I(電源)/ATTボタン

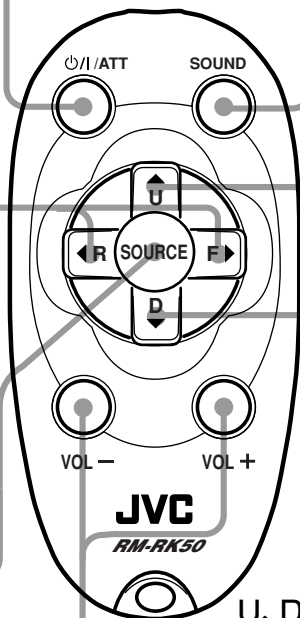
電源の「入↔切」ができます。
 電源を「切」にするときは、
 1秒以上押します。
 電源「入」のとき「ポン」と押
 すと、音量を一時的に下げ
 ることができます。

^{サウンド}
SOUNDボタン
 EQのモードがダイレクト
 に選べます。



F、Rボタン

ラジオ	CD、 CDチェンジャー
オート選局 (SEEK)	曲(ファイル) の頭出し 早送り、早戻し



^{ソース}
SOURCEボタン

押すごとにソース(音源)が選
 べます。ただし電源を「入」
 にすることはできません。



*CDチェンジャーが接続さ
 れていたり、CDが本機に
 入っているときのみ

U、Dボタン

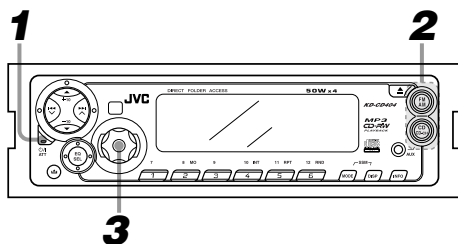
	ラジオ	CDチェンジャー	MP3 ディスク
Uボタン	FM/AMの バンド切換	CD1~CD12 の選択	次または前 のフォルダ にスキップ
Dボタン	プリセット 選局		

^{ボリューム}
VOL+、-ボタン

音量を調節することができます。

基本操作

- 準備** ●車のエンジンをかける。



1 電源(電源)/ATTボタンを押して電源を入れる



・「HELLO」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はFM1…が表示されます。

2 ソース(音源)を選ぶ



：「ラジオ」… 押すごとにバンドが選べます。



：「CD」*1

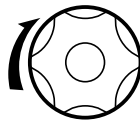
「CDチェンジャー」*2

2秒以上押しと「AUX(外部入力)」になります。

- *1 本機にCDが入っているときのみ
- *2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

●これらのボタンは、ダイレクトソース切換機能のほかに電源を「入」することもできます。

3 回転ボリュームを回して音量を調節する



・調節範囲
VOLUME00 ~ VOLUME50
(初期設定 VOLUME15)

- 音量を一時的に下げる
電源(電源)/ATTボタンを「ボン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●電源を「切」にする



電源(電源)/ATTボタンを1秒以上押します。「SEE YOU」が表示され電源が切れます。

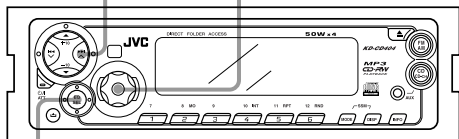
- ・1秒以上押す。

〈お知らせ〉

- 「CDチェンジャー」は、CD/CD-CH ボタンのモードをライン入力に切換えると「EXT」になります。➡[85](#)ページ参照
- ▲(CD取出し)ボタンは、電源「切」のときも操作できますがソース(音源)は切替わりません。
- 音量・音質の調節は[88](#)～[89](#)ページをご覧ください。

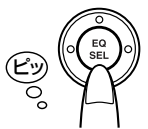
時計を合わせる

2・3.2 3.1・3.3



1-4

1 SELボタンを2秒以上押す

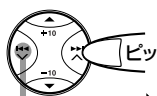


・お買い上げ時は「CLOCK H」が表示されます。
 →手順3へ進む
 ・これ以外のときは、選ばれているモードが表示されます。

・2秒以上押す。

15秒以内に

2 ▶▶I (またはI◀◀) ボタンを数回押して「CLOCK H」を選ぶ



→ CLOCK H

逆に選べます。

15秒以内に

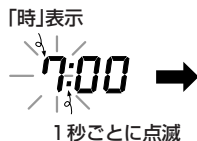
3 回転ボリュームと▶▶Iボタンで現在時刻に合わせる

例：7時30分に合わせる
 (12時間表示方式です)

3-1 「時」を合わせる

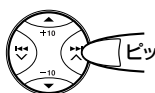


「時」を戻す 「時」を進める



「時」表示
 1秒ごとに点滅

3-2 「CLOCK H」を選び...



3-3 「分」を合わせる



「分」を戻す 「分」を進める

15秒以内に

4 SELボタンを押す



・元のソース(音源)の表示に戻ります。
 SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

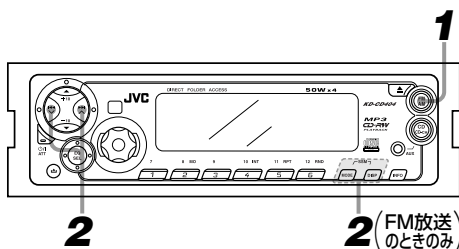
- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~4の操作をします。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、81~86ページをご覧ください。

ラジオを聞く

1 FM AM ボタンを押してバンドを選ぶ



・押すごとに
FM1 → FM2 → AM1
← AM2 ←
 と選べます。



● 放送局を選ぶ

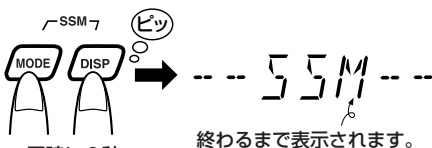
2 選局ボタン(▲または▼)を押して選局する



- **オート選局**：「ポン」と押して離す。
 (シーク) 「SEEK」が表示され本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- **マニュアル選局**：1秒以上押して「MANU」を表示させたあと、「ポン・ポン」と押して選局する。
 ・FMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

- 放送局を自動でメモリー(記憶)させる
 -SSM(ストロングステーションメモリー)機能-

2 MODEとDISPボタンを同時に2秒以上押す(FM放送のときのみ)



- ・同時に2秒以上押す。
- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの **1** ~ **6** にメモリーしていきます。
- メモリーし終わると数字ボタン **1** に記憶された放送局が表示されます。
- FM 1 (またはFM 2) ごとに6局ずつメモリーされます。

〈お知らせ〉

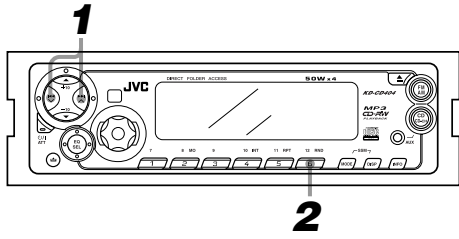
- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。

〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにFM 1 または FM 2 にメモリーしてあった放送局は取り消されます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所へ移動してから操作してください。
- AM放送のときは、SSM機能が働きません。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます。→ 10 ページ参照

放送局を選んでメモリー（記憶）させる

SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。



例：FM放送の81.3MHzを **6** ボタンにメモリーする

1 選局ボタン（**▲**または**▼**）でFM81.3MHzを選局する

→14ページのオート選局またはマニュアル選局参照

2 数字ボタンの **6** を2秒以上押す

押した数字ボタンと同じ数字がMEMOと交互に表示されると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

・2秒以上押す。

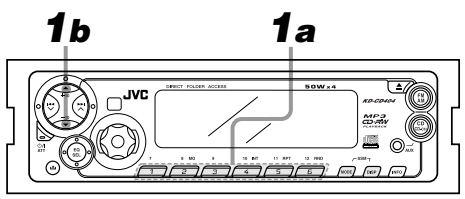
- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。AM放送は、必ずこの手順でメモリーしてください。

〈お知らせ〉

- FM放送の場合、この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後に行ってください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

放送局を呼び出す（プリセット選局）

数字ボタン（1～6）にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。



1a 数字ボタン（1～6）を押して選局する
（プリセット選局といいます）

1

2

3

4

5

6

A

- 数字ボタン（1～6）にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。
（数字ボタンは2秒以上押し続けしないでください）

1b +10 ボタン（または-10 ボタン）を押して選局する

ピッ

1 → 2 → 6

の順に選局できます。

ブッ

6 → 5 → 1

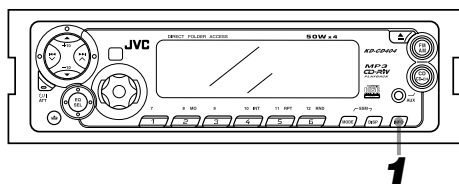
の順に選局できます。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー（記憶）した放送局は取り消されます。また時計表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く



1 INFOボタンを押す



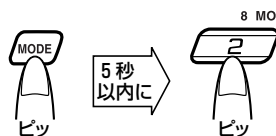
INFO → 1620

高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでINFOボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1620kHzが受信できます。

- INFOボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合のみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中にINFOボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がINFOボタンにメモリーされます。
- AM1629kHzで道路交通情報を行っている地域のときは、あらかじめINFOボタンにメモリーし直しておくとう便利です。

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送を「モノラル受信モード」に切換えます。



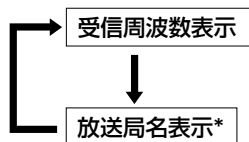
「MODE」表示
が点滅します。

表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「オート受信モード」に切換えます。FMステレオ放送を受信すると「ST」が表示されます。

放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを「ポン・ポン」と押すと、表示内容を変えることができます。



*放送局名を入力していないときは「NO NAME」が表示されます。なお、放送局名はスクロール表示されません。

〈お知らせ〉

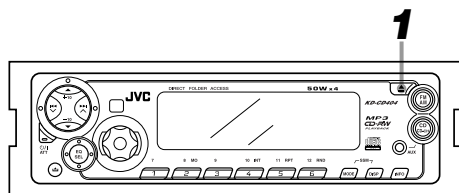
- 放送局名を入力するときは⑧ページの「文字入力のしかた」をご覧ください。
- 放送局名を一度入力すると、バンドを変えてその周波数を選局しても同じ放送局名が表示されます。

アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナブラスター装備車の場合は、**オートアンテナ**コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(ブラスター)側に電源が供給されます。“CDチェンジャー”や“CD”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(オートアンテナ)の最大コントロール電流は250mAです

CDを聞く

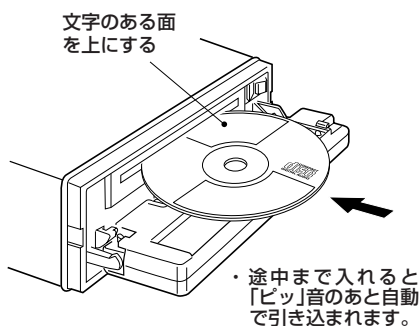



1 ▲(CD取出し)ボタンを押す



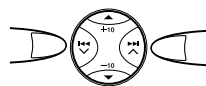
・コントロールパネルが開いてCDの挿入口が現われます。

2 CDを入れ、コントロールパネルを閉める⇒ソース(音源)が「CD」になり演奏スタート



- ・「PLAY ...」表示中は、CDのデータを読み込んでいます。終わると曲数と演奏時間表示に変わり、1曲目から演奏がスタートします。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- ・CDが入っていることを表すが表示されません。

- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。



曲の頭出し (スキップ)

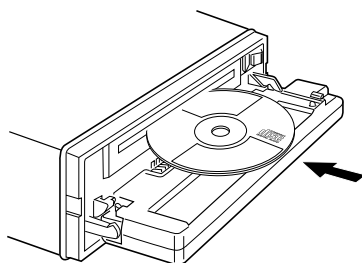
- ▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。
- ◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・ 早戻し (サーチ)





- ▶▶ : 押し続けている間早送りされます。
 - ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。
- 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。



〈お知らせ〉

- 文字のある面に  または 、、 のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクおよびMP3ディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- 本機は半角の英数字に限り対応しております。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

CDテキストについて



「CDテキスト」は、これまでの音楽CDにアルバムタイトルや曲名、アーティスト名などの文字情報を追加した、音楽CDの機能です。

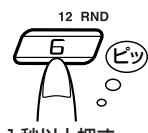
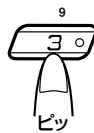
本機でCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。DISPボタンを押すと表示が変わります。

ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。

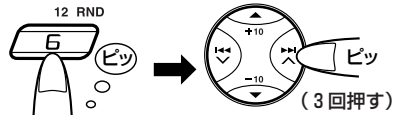


- 1～6曲目
数字ボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。
例：12曲目のとき



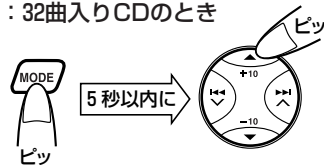
- 13曲目以上は
▶▶ボタンを併用します。

例：15曲目



- 1秒以上押す。
- またMODEボタンと+10(または-10)ボタンを使うと、前後10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りCDのとき



01 → 10 → 20 → 30 → 32

- +10ボタンを押すと、このような頭出しができます。-10ボタンを押すと逆に選べます。

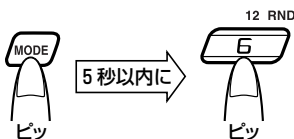
＜お知らせ＞

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- +10ボタン(または-10ボタン)をくり返して押すときは、2秒以上間を空けずに押してください。

CDを聞く(つづき)

ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



「MODE」表示が点滅します。

- 表示窓に「RND」が表示され、ランダム演奏になります。
- 解除するときには、もう一度同じ操作をします。

イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。

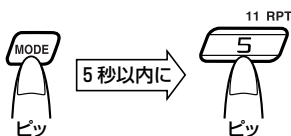


「MODE」表示が点滅します。

- イントロスキャン中の曲の曲番号が点滅します。
- 途中でイントロスキャンを解除するときには、もう一度同じ操作をします。
- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



「MODE」表示が点滅します。

- 表示窓に「RPT」が表示され、1曲リピート演奏になります。
- 解除するときには、もう一度同じ操作をします。

CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを「ポン・ポン」と押し、表示内容を変えることができます。

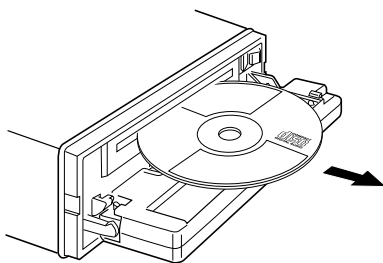


*記録されていないCDでは「NO NAME」表示になります。

CDを取り出す



▲(CD取出し)ボタンを押すと、CD挿入口が現われCDが出てきます。CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます)

〈お知らせ〉

- ディスク名/曲名を入力するときは②ページの「文字入力のしかた」をご覧ください。
- ディスク名や曲名はスクロール表示されません。DISPボタンを1秒以上押ししたときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態：ONCE(お買い上げ時の状態)になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。
→②4ページ参照
- 文字表示は半角英数字が(英小文字は英大文字に変換されて)表示されます。
- 漢字や全角文字には対応していません。

〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDが出てきたあと電源が切れます。

CDの盗難防止

CDを他の人が取り出せなくすることができます。



- 「NO EJECT」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されCDが出てきます。

〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されません。

MP 3 について

MP 3 とは

MP 3 (MPEG Audio Layer 3 の略)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP 3 を使用すれば、元の音楽データを約10分の1に圧縮できます。詳しくは別冊の「音楽用ファイルMP 3 Q&A集」をご覧ください。

●再生できるメディア

本機はMP 3 形式のCD-ROMまたはお客様が編集されたCD-R(レコーダブル)、CD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。

ディスクはISO9660レベル1およびレベル2およびJolietでフォーマットされたものが再生可能です。本機ではマルチセッション対応で記録したディスクも再生できます。必ずセッションクローズ処理をしてください。

●ID 3 -Tagについて

ID 3 -Tagのバージョン1(アルバム名、アーティスト名および曲タイトル)を表示することができます。文字種は半角の英数字です。なお、ID 3 -Tagのバージョン2には対応していません。

●ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字で入力してください。これ以外で入力されていると正常に表示されません。また、MP 3 ファイルと認識されて再生できるファイルは、MP 3 の拡張子(.MP 3)がついたものだけです。

●使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名につけられる最大文字数(区切り文字“.”と拡張子*MP 3 を含む)でISO9660では1バイト文字を使用したときの文字数です。

- ISO9660レベル1 : 12文字
- ISO9660レベル2 : 31文字
- Joliet : 64文字

ただし本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大フォルダ階層 : 8 階層
- フォルダ/ファイルの最大総数 : 289

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP 3 ファイルは、正常に再生できなかったりファイル名/フォルダ名が正しく表示されないことがあります。

またライティングソフトによってフォーマットの設定方法が異なることがあります。このようなときは、ライティングソフトのフォーマット設定をもう一度確認のうえ、その取扱説明書に従って正しく設定し直してください。

*拡張子とは
ファイルの種類や記録形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。

●圧縮ソフトとライティングソフトの設定

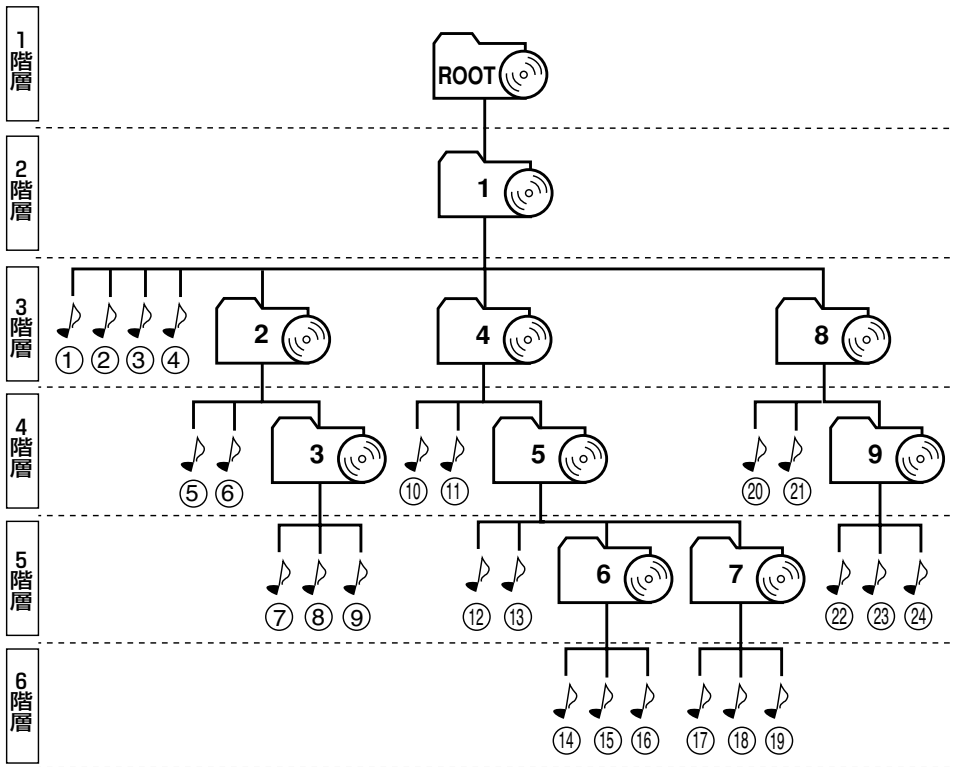
MP 3 ファイルに圧縮するとき、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は「128 Kbpsの固定」を推奨します。また最大容量まで記録するときは、追記禁止の設定をしてください。


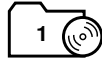

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録するときは「Disc at Once」の設定をしてください。

〈お知らせ〉

- 詳しくは、別紙の「MP3 Q&A集」もご覧ください。

MP3フォルダ／MP3ファイルの演奏順序

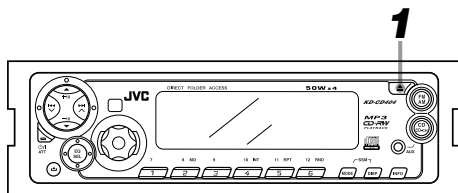


	ルート
	フォルダ (グループ)
	MP3ファイル (トラック)

〈お知らせ〉

- ルートとは、現在開いているMP3ディスクの最上階層のフォルダのことです。
- 同一階層内のフォルダやファイルは、ライティングソフトによってMP3ディスクに書き込まれた順序で演奏されます。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるためフォルダ名、ファイル名の初めに数字(01A,01B…など)をつけると、演奏順序を指定できます。

MP3ディスクを聞く



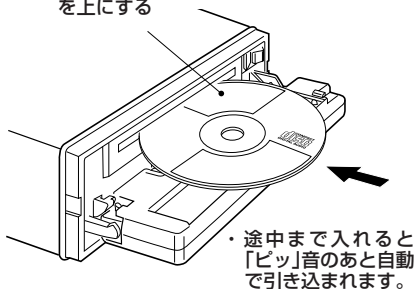
1 ▲(CD取出し)ボタンを押す




・コントロールパネルが開いてCDの挿入口が現われます。

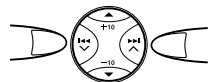
2 CDを入れ、コントロールパネルを閉める⇒ソース(音源)が「CD」になり演奏スタート

文字のある面を上にする



- ・「PLAY ...」表示中はデータを読み込んでおり、「CHECK」点滅表示のあと、フォルダ数とMP3ファイル数表示に変わり演奏がスタートします。
- ・CDが入っていることを表すが表示されます。

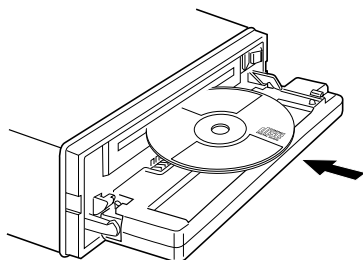
- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。



ファイルの頭出し (スキップ)	▶▶ : 押すごとに次のファイルの頭に移ります。 ◀◀ : 演奏中のファイルの頭に戻ります。押すごとに前のファイルの頭に戻ります。
早送り・早戻し (サーチ)	▶▶ : 押し続けている間早送りされます。 ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れていきます。



〈お知らせ〉

- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。
- 「RDT」が表示されると、DIRECTORY表示が点灯します。

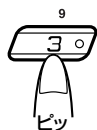
ダイレクト演奏 (ダイレクトフォルダアクセス機能)

演奏中に聞きたい曲(ファイル)が入っているフォルダに合わせて数字ボタンを押します。すぐそのフォルダに移り演奏がスタートします。



- ・フォルダ 01～06
数字ボタンを「ポン」と押します。

例：フォルダ 03
のとき



- ・フォルダ 07～12
数字ボタンを1秒以上押します。

例：フォルダ 12
のとき

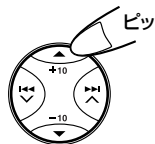


- ・1秒以上押す。

〈お知らせ〉

- MP3 ディスクのフォルダ名の頭に2ケタの数字(01A, 01B…など)をつけておかないとダイレクト演奏はできません。
- フォルダを選択中に、MP3表示が点滅するとき、そのフォルダにMP3ファイルが含まれておりません。
- フォルダを選択中は、右下の表示窓に「FOL」が表示されます。

次または前のフォルダにスキップする

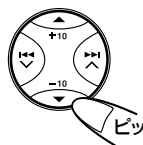


▲ボタンを押すごとに、次のMP3を含むフォルダにスキップします。

- ・MP3ファイルのフォルダ3を演奏中のとき

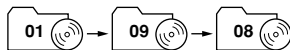


- ・MP3ファイルのフォルダ5を演奏中のとき

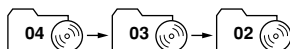


▼ボタンを押すごとに、前のMP3を含むフォルダにスキップします。

- ・MP3ファイルのフォルダ1を演奏中のとき



- ・MP3ファイルのフォルダ4を演奏中のとき



〈お知らせ〉

- 23ページの「MP3フォルダ/MP3ファイルの演奏順序」と一緒にご覧ください。

MP3ディスクを聞く(つづき)

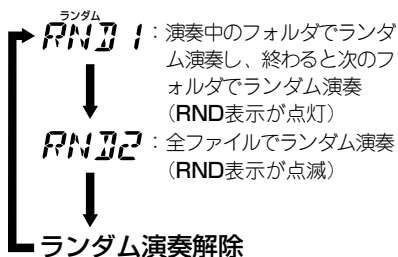
ランダム演奏

MP3 ディスクの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



「MODE」表示が点滅します。

- ・RNDボタンを押すごとに次のように動作します。



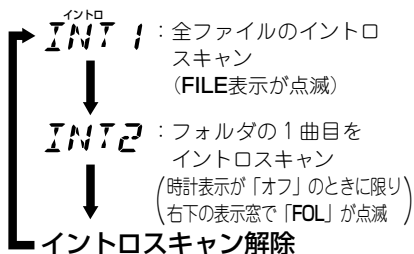
イントロスキャン

聞きたいファイルが素早く探せます。ファイルの頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたいファイルが見つかったら◀◀ボタンを押します。



「MODE」表示が点滅します。

- ・INTボタンを押すごとに次のように動作します。



- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

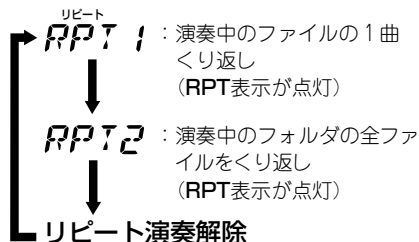
リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中のファイルをくり返して聞くことができます。



「MODE」表示が点滅します。

- ・RPTボタンを押すごとに次のように動作します。



〈お知らせ〉

- 時計表示の「オン/オフ」については32ページをご覧ください。

MP3ディスク演奏中の表示を変える



・DISPボタンを「ボン・ボン」と押すと、表示内容を変えることができます。

- ・TAG オンのとき(お買い上げの状態)
MP3ファイルがID3-Tagを持っていると、ID3-Tagが表示されます。

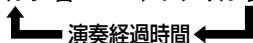
アルバム名／アーティスト名 → 曲タイトル
(フォルダ名*) (ファイル名*)



*MP3ファイルがID3-Tagを持っていないときは、フォルダ名とファイル名が表示されます。

- ・TAG オフに設定してあるとき

フォルダ名 → ファイル名



(MP3ファイルがID3-Tagを持っていてもID3-Tagは表示されません)

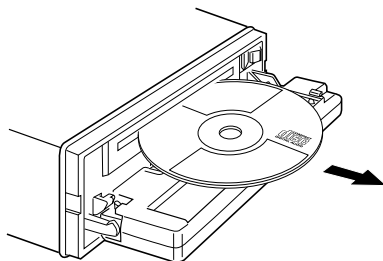
〈お知らせ〉

- 表示窓には8文字まで表示できます。8文字を超えると、スクロール表示されません。
- TAG オン／オフについては36ページをご覧ください。
- ID3-Tagについては22ページをご覧ください。

CDを取り出す



▲(CD取出し)ボタンを押すと、CD挿入口が現われCDが出てきます。CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます)

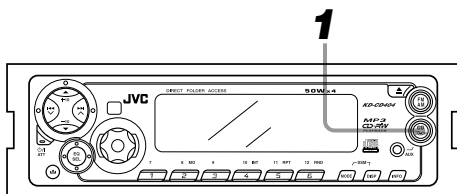
〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDが出てきたあと電源が切れます。

CDチェンジャーのCDを聞く

準備 ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



1 CD CD-CH ボタンを押してソース(音源)を「CD-CH」にする



CD*

*本機にCDが入っていないと「NO DISC」が表示されCDにはなりません。

CD-CH

: 「CDチェンジャー」になり全曲演奏がスタートします。

0005"

演奏経過時間

01

曲番号

● CDチェンジャー演奏中に電源を「切」にしたときは、止まったときのCDからの演奏がスタートします。

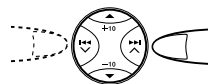
⋮

● 最初のCDの演奏が終わると、自動で次のCDの演奏になります。マガジン内の全CDのくり返し演奏になります。

● 演奏を途中でやめる

FM AM ボタンを押して他のソース(音源)に切換えます。

または電源を「切」にします。



曲の頭出し
(スキップ)

▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。

◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・早戻し
(サーチ)

▶▶ : 押し続けている間早送りされます。

◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

数字ボタンでCDを選ぶ

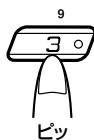
聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



● 1～6枚目

数字ボタンを「ボン」と押します。

例: 3枚目のとき



● 7～12枚目

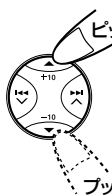
数字ボタンを1秒以上押します。

例: 12枚目のとき



・1秒以上押す。

▲(または▼)ボタンでCDを選ぶ



● CD1 → CD2... → CD12

の順に選べます。

● CD12 → CD11... → CD1

の順に選べます。

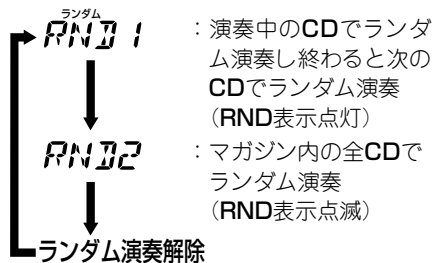
ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



「MODE」表示が点滅します。

- ・ RNDボタンを押すごとに次のように動作します。



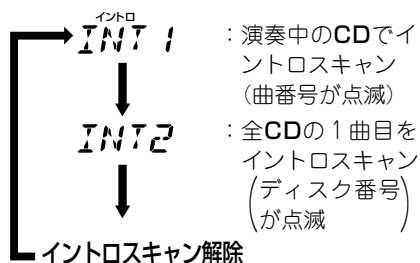
イントロスキャン

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀ボタンを押します。



「MODE」表示が点滅します。

- ・ INTボタンを押すごとに次のように動作します。



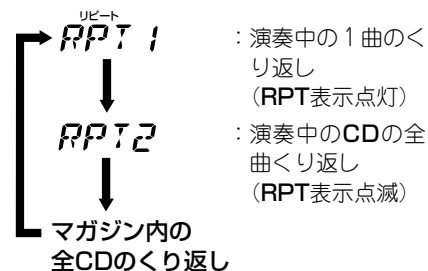
リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



「MODE」表示が点滅します。

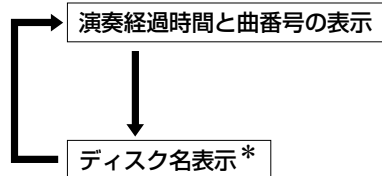
- ・ RPTボタンを押すごとに次のように動作します。



CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを「ポン・ポン」と押しと、表示内容を変えることができます。



*ディスク名を入力していないときは、「NO MANE」が表示されます。


〈お知らせ〉

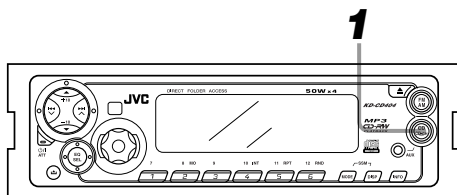
- ディスク名を入力するときは⑦ページの「文字入力のしかた」をご覧ください。

他の機器の音を聞く

CDチェンジャー端子を使うとき

準備

- 変換コード：KS-U57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子にカーAV機器を接続しておきます。→別紙の取付説明書参照
- CD CD-CH ボタンのモードを「LINE IN」に切換えておきます。
→ページ参照



- 1** CD CD-CH ボタンを押してソース(音源)を「EXT(ライン入力)」にする



CD*

*本機にCDが入っていないときは「NO DISC」が表示されCDにはなりません。

EXT

：「LINE IN」が表示されソース(音源)がライン入力になります。

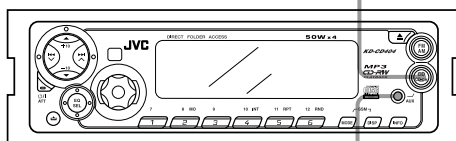
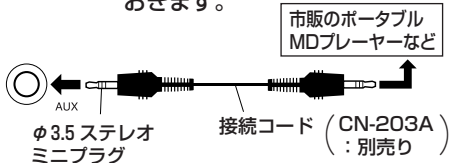
- 2** 接続した機器を演奏状態にする

・接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

フロントAUX端子を使うとき

準備

- フロントAUX端子にポータブルMDプレーヤーなどを接続しておきます。



フロントAUX端子

- 1** CD CD-CH ボタンを2秒以上押してソース(音源)を「AUX」にする



AUX

・2秒以上押す。

ソース(音源)がフロントAUXに変わりAUX IN表示になります。

- 2** 接続した機器を演奏状態にする


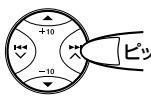

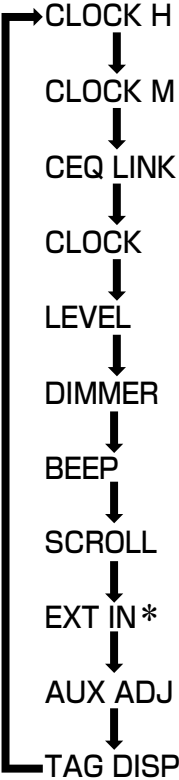
・接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

〈お知らせ〉

- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- すでにCDチェンジャーを接続しているときは、ご利用になれません。

SELボタンの使いかた

• SELボタンのモード一覧

1 SELボタンを 2秒以上押す 	2 ▶▶(または◀◀)ボ タンでモードを選ぶ 	3 設定する 	参 照 ペー ジ	
	初期設定値	1 → 12 → 11 → ……	1 → 2 → 3 → ……	
	1 : 00	00 → 59 → 58 → ……	00 → 01 → 02 → ……	13
	LINK OFF	LINK OFF	LINK ON	32
	ON	OFF	ON	32
	AUDIO 2	AUDIO 1 ←→ AUDIO 2 ↓ ↓ OFF		33
	AUTO	AUTO ←→ OFF ↓ ↓ ON		33
	ON	OFF	ON	34
	ONCE	ONCE ←→ AUTO ↓ ↓ OFF		34
	CHANGER	CHANGER	LINE IN	35
	A. ADJ 00	A. ADJ 00 ~ A. ADJ 05		35
	TAG ON	TAG OFF	TAG ON	36

* 現在のソース(音源)が「CHANGER」または「LINE IN」のときは、表示されません。

〈お知らせ〉

- ◀◀ ボタンを押すとSELボタンのモードは逆に選べます。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- 設定ができたあとは、SELボタンを押して終了します。
SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

SELボタンの使いかた(つづき)

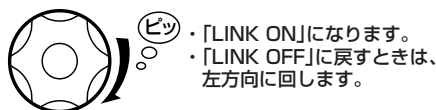
C.EQ LINK機能を使う

各ソース(音源)ごとにお好みの音質で聞くことができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「C EQ LINK」を選ぶ

3 回転ボリュームを右方向に回して「LINK ON」にする



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

表示窓の時計表示を変える

右下の表示窓にソース(音源)名を表示させることができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「CLOCK」を選ぶ

3 回転ボリュームを左方向に回して「OFF」にする



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- C.EQ LINK機能を「LINK ON」に設定すると、ソース(音源)を切替えたとき「C.EQ」が点滅表示され設定されているEQモードも表示されます。

〈お知らせ〉

- 時計を表示させるときは、DISPボタンを押します。5秒間表示されます。
- 「AUX IN(またはLINE IN)」のときは、大きい方の表示窓にソース(音源)名を表示するためON/OFFに関係なく時計表示になります。

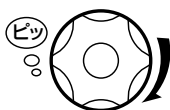
レベルメーターの表示切換

表示窓右側のレベルメーターの表示を切換えることができます。

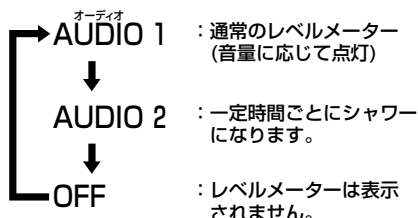
1 SELボタンを2秒以上押す

2 ►►I(またはI◄◄)ボタンを数回押して「LEVEL」を選ぶ

3 回転ボリュームを右方向に回してレベルメーターのモードを選ぶ



・左方向に回すと逆に選べます。



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

表示窓の明るさを変える

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。

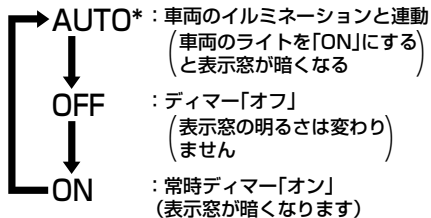
1 SELボタンを2秒以上押す

2 ►►I(またはI◄◄)ボタンを数回押して「DIMMER」を選ぶ

3 回転ボリュームを右方向に回してディマーのモードを選ぶ



・左方向に回すと逆に選べます。



*「AUTO」で使うときは、本機の「イルミネーション」コードを車両のイルミ電源に接続しておきます。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

SELボタンの使いかた(つづき)

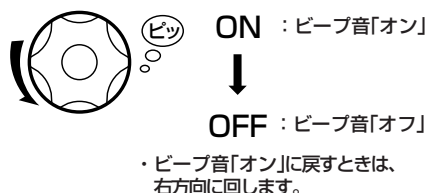
ビープ音を「オン/オフ」する

ボタン操作時の「ピッ」音を出なくすることができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ►►I(またはI◄◄)ボタンを数回押して「BEEP」を選ぶ

3 回転ボリュームを左方向に回して「OFF」にする



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 回転ボリュームでVOL(音量)、音質、フェーダー、バランス調節をするときは、「オン」に設定されていても「ピッ」音が出ません。

文字表示のモードを変える

表示窓の文字表示がスクロール表示されるとき、そのモードを変えることができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ►►I(またはI◄◄)ボタンを数回押して「SCROLL」を選ぶ

3 回転ボリュームを回してスクロールのモードを選ぶ



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 放送局名は、スクロール表示されません。

CD-CH ボタンのモードを変える

CDチェンジャー端子に他の機器を接続したときは、「LINE IN」に切換えます。

1 ソース(音源)を「ラジオ」にする

・ソース(音源)が「CDチェンジャー」のままでは、この操作はできません。

2 SELボタンを2秒以上押す

3 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「EXT IN」を選ぶ

4 回転ボリュームを右方向に回して「LINE IN」にする



・「CHANGER」に戻すときは、左方向に回します。

チェンジャー
CHANGER
↓
LINE IN

：CDチェンジャーをつないだとき
：他の機器をつないだとき

5 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

フロントAUXの入力感度を上げる

フロントAUX端子の入力感度を調節することができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▶▶(または◀◀)ボタンを数回押して「AUX ADJ」を選ぶ

3 回転ボリュームを右方向に回して入力感度を調節する



・ A. ADJ 00 ~
A. ADJ 05 の範囲で調節できます。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

SELボタンの使いかた(つづき)

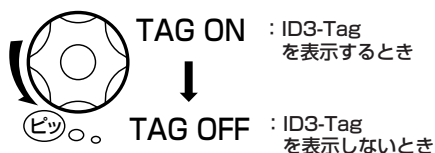
ID3-Tag表示を「オン／オフ」する

MP3ディスクのID3-Tag表示を「オン／オフ」することができます。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 **▶▶I**(または**I◀◀**)ボタンを数回押して「TAG DISP」を選ぶ
タグ ディスプレイ

3 回転ボリュームを左方向に回して「TAG OFF」にする



・「TAG ON」に戻すときは右方向に回します。

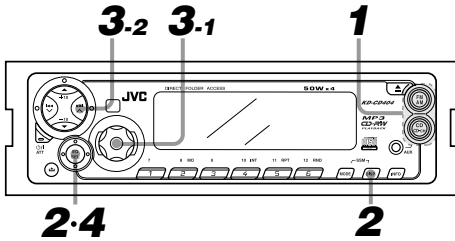
4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

文字の入力のしかた

文字の入力と修正・削除

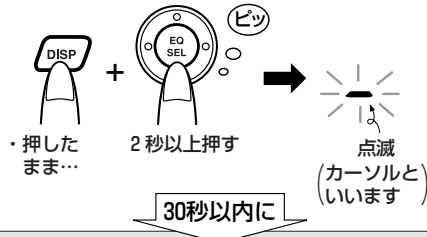
放送局名は1局あたり8文字/最大30局分、
CD/CDチェンジャーは最大32文字/40枚
分まで入力できます。



1 文字を入力したいソース (音源)を選ぶ

- ・ラジオ、CDまたはCDチェンジャーから選びます。

2 DISPボタンを押したままSELボタンを同時に2秒以上押す



3 回転ボリュームと▶▶Iボタンで名前を入力する

(①と②をくり返す)



①文字を選び… ②カーソルを右に移す

- ・文字を間違えたときは、◀◀Iボタンでカーソルを戻し回転ボリュームで正しい文字を上書きします。
- ・スペース(空白)を選んで▶▶Iボタンを押すと、文字を消すこともできます。

30秒以内に

4 SELボタンを押して文字を確定する



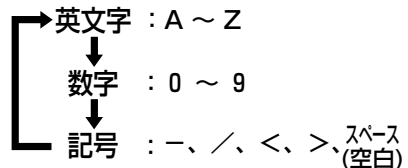
- ・全てスペース(空白)を入力し、確定すると局名を消すことができます。
- ・局名を入力したあとDISPボタンを1秒以上押したときも、全て消すことができます。
- このあとSELボタンを押して確定します。

〈お知らせ〉

- 31局目の放送局名またはCD41枚目の名前を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。

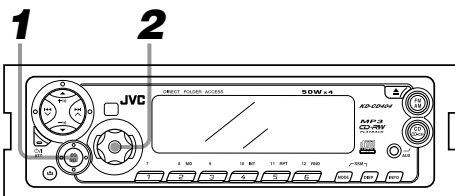
●文字の配列について

手順3のとき回転ボリュームを右方向に回すと次のように選べます。



左方向に回すと逆に選べます。

音量・音質の調節



1 SELボタンを押して調節したい項目を選ぶ



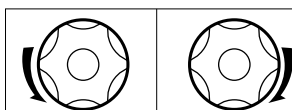
・「ボン・ボン」と押しごごとに以下のように変わります。

EQのモード → **BAS** → **TRE** → **FAD**
 ↓
VOL ← **LOUD** ← **BAL**

・音量調節(VOL)のみのときは、回転ボリュームを直接回して調節します。

5秒以内に

2 回転ボリュームを回して音量・音質を調節する



EQのモード	JAZZ → …	ROCK → …
BAS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TRE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FAD (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
LOUD (ラウドネス)	ラウドネス OFF	ラウドネス ON
VOL (音量)	音量が下がる	音量が上がる

・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

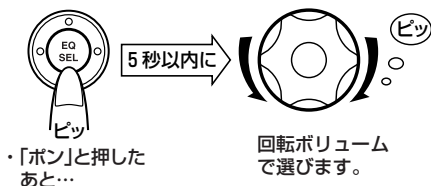
● 音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	設定範囲
EQのモード	USER(フラット)	USER～JAZZ
BAS(低音)	00(フラット)	-06～+06
TRE(高音)	00(フラット)	-06～+06
FAD(フェーダー)	00(センター)	リア R06～フロント F06
BAL(バランス)	00(センター)	リフト L06～ライト R06
LOUD(ラウドネス)	OFF	ON/OFF
VOL(音量)	15	00～50

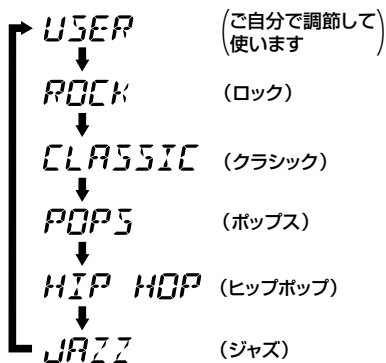
＜お知らせ＞

- ・ラウドネス「ON」に設定すると、表示窓にLOUDが表示されます。小音量時の低音・高音が増強され聞きやすくなります。
- ・フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- ・調節したレベルが表示窓に表示されます。

EQボタンで音質を選ぶ



EQ(イコライザー)ボタンを使うと、お聞きになる音楽のジャンルに合わせて音質が選べます。



回転ボリュームを右方向に回したときの順番です。左方向に回すと逆に選べます。

〈お知らせ〉

- 選ばれたEQ名の下に **—** が点滅表示され、メーター部分にEQパターンが5秒間表示されます。
- 「USER」は、お買い上げ時フラットな状態になっております。
- 「ROCK」と「HIP HOP」は、お買い上げ時ラウドネス「オン」に設定されております。
- リモコンで操作する



SOUNDボタンを押すと、EQのモードが上記の順にダイレクトに選べます。

EQのメモリー内容を変える

EQの各モードは、お好みの音質に調節しメモリーしておくことができます。

1 ソース(音源)を選ぶ

- ・ ラジオ、CDまたはCDチェンジャーなどから選びます。

2 EQボタンを押したあと回転ボリュームでいずれかのモードを選ぶ

- ・ USER～JAZZのいずれかが選べます。

3 SELボタンを押して「BAS」または「TRE」を選ぶ

- ・ 現在のレベルが表示されます。
- ・ ラウドネスを「オン↔オフ」したいときは、「LOUD」を選びます。

4 回転ボリュームで音質を調節する



- ・ 手順3と4をくり返して「BAS」と「TRE」を調節します。

- 調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。調節したレベルがメモリーされます。

〈お知らせ〉

- C EQ LINK機能の設定を「ON」または「OFF」に変えると、EQのメモリー内容がリセットされお買い上げ時の状態に戻ります。➡32ページ参照

コントロールパネルの着脱

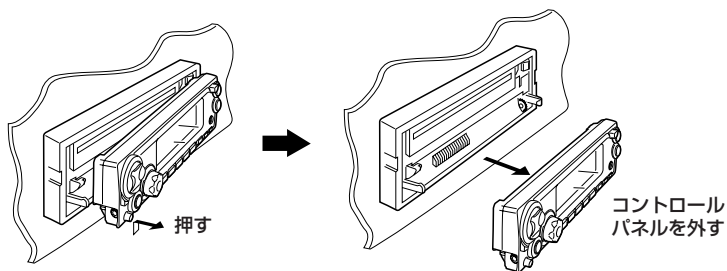
コントロールパネルを外す

1 電源 / ATT ボタンを1秒以上押して電源を「切」にする



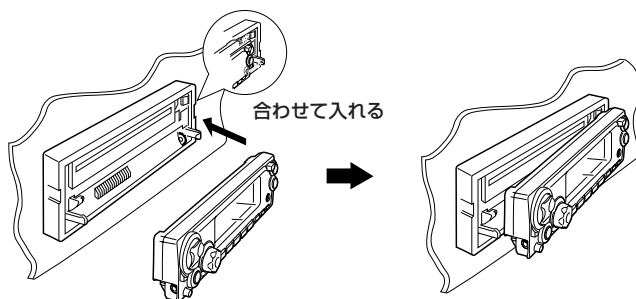
・1秒以上押す。

2 △(コントロールパネル取り出し)ボタンを押す

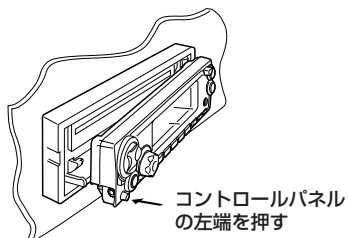


コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルの右側を本体に合わせて入れる



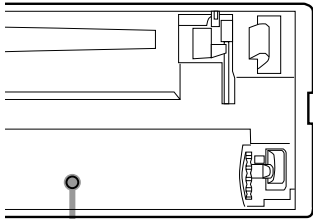
2 コントロールパネルの左端を「カチッ」と音がするまで押す



故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度確かめください。—

コントロールパネルの着脱・故障かな?と思う前に

症 状	原 因 ・ 処 置
<p>どのボタンを押しても正しく動作しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 →リセットボタンを押す。 (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります) <p>操作のしかた</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コントロールパネルを外す →40ページ参照 2 リセットボタンをボールペンの先などで押す  <p>リセットボタン</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 コントロールパネルを取り付ける →40ページ参照
<p>電源を切ったが「ATT」表示が点滅する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ⏻/I (電源)/ATTボタンを「SEE YOU」が表示されるまで…1秒以上…押す。
<p>電源が入らない。 (DISPボタンを押すと) 時計は表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源 (ACCライン) のコードが接続されていないため。
<p>CDの取り出しができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 → CD ボタンを押したまま ⏻/I (電源)/ATTボタンを同時に2秒以上押す。→21ページ参照

故障かな?と思う前に(つづき)

症 状	原 因 ・ 処 置
CDを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● 音量を適度に調節する。● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。
CD-R/CD-RWディスクの再生ができない。 CD-R/CD-RWディスクのスキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none">● ファイナライズ処理がされていないため。 →ファイナライズ処理したディスクと交換する。 または録音した機器でファイナライズ処理をする。
「ピピピピ」音のあとPLEASE ↑ EJECTが交互に表示される。	<ul style="list-style-type: none">● CDが裏返しに入っている。 →文字のある面を上にしてCDを入れ直す。
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none">● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の「オートアンテナ」コードを正しく接続する。● 放送局の周波数に正しく合わせる。● 携帯電話などを本機から離す。
CDの出し入れやコントロールパネルを開けたとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none">● これらの動作のときは、音声にミュートンゲをかけて雑音の発生を防いでいるためで故障ではありません。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

こんな表示のときは

表 示	原 因 ・ 処 置
NO NAME	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名や曲名が記録されていないときDISPボタンを押したため。 → ディスク名または曲名が記録されているディスクを入れる。 ● 放送局名が入力されていないときDISPボタンを押したため。 → 放送局名を入力する。
PLEASE ↑↓ EJECT	<ul style="list-style-type: none"> ● CDの読み取りでエラーが発生したため。 ● CD-R/RWに記録したデータが劣化している (→19ページ) ● ファイナライズ処理がされていない。(→19ページ) → ▲(CD取出し)ボタンを押したあとCDを入れ直す。 または他のCDを入れ直して本機が異常でないか確かめる。
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● CDが入っていないとき ^{CD}CD-CH ボタンを押したため。 (CDチェンジャー端子に何も接続していないとき) → CDを入れる。
● CDチェンジャー	
RESET 8	<ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 → CDチェンジャーとの接続コードを確認する。
RESET ^{数字} ○	<ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 → CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

④①～④③ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング
周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：102 dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W
(4 Ω 、1 kHz)
リア 50W+50W
(4 Ω 、1 kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1
AUX(ϕ 3.5ステレオミニ)
×1
- 出力端子：LINE OUT(2系統)、
2.0V/1 k Ω

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース専用
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行150mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行167mm
- 質量：約1.3kg(付属品含まず)

付属品

- ・リモコン(RM-RK50) …………… 1
- ・電池(CR2025) …………… 1
- ・接続コード(16ピンコネクター)………… 1
- ・ネジ(M 5 × 6 mm)…………… 4
- ・皿ネジ(M 5 × 6 mm)…………… 4

別売りアクセサリ

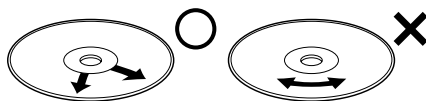
- ・クリーニングキット：CK-25(CD用)
- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1 m)
CN-520E(長さ2 m)
- ・接続コード(ステレオミニプラグ)：CN-203A(長さ1.5m)
- ・変換コード：KS-U57

お手入れ

CD(コンパクトディスク)のお手入れ

マガジンに入れる前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側へ



必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

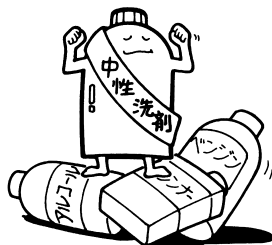
本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



用語索引

アルファベット・数字

- BTL 6
- CD-R/CD-RW 7 19
- CDテキスト 19
- EQのモード 38
- ID 3-Tag 22
- MP 3 22
- SSM(ストロングステーションメモリー) 14
- 1 曲リピート演奏 20
- 8 センチCD 18

ア行

- アンテナリモート 17
- イントロスキャン 20 26 29
- オート選局 14

カ行

- 拡張子 22

サ行

- サーチ 18 24 28
- シーク 14
- スキップ 18 24 28
- 全曲演奏 28

タ行

- ダイレクト演奏 19 25
- ダイレクトフォルダアクセス 25
- 盗難防止 16
- 道路交通情報 25

ハ行

- バランス 38
- ヒューズ 6
- ファイル 22
- フォルダ 22
- フェーダー 38
- プリセット選局 15

マ行

- マニュアル選局 14

ラ行

- ランダム演奏 20 26 29
- リセットボタン 41
- リピート演奏 20 26 29
- ルート 23

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」
をご覧ください。

☎ 0120-977846 (フリーダイヤル)
FAX (027) 254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>

カーAV機器ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎ (027) 254-8926